

G6エリアタンク(鋼製円筒型タンク)フランジ部からの漏えいについて

< 参考資料 >
平成25年6月5日
東京電力株式会社

- 発見時間:平成25年6月5日 12:15頃
- 発見者:協力企業社員
- 場所:G6-1エリア No.9 鋼製円筒型タンク2段目と3段目の間のタンク壁面継ぎ目部(ジョイント部)
線量測定: =約0.06mSv/h
 =約12mSv/h
- 漏えい量:3～4秒に1滴
- 原因:調査中

- 漏えい状況:G6-1 No.9タンク2段目上部フランジから水が染み出てタンク側面を伝って滴下していることを発見。

タンク側面および底部付近に吸収材を置いて、滴下した水の吸い取りを実施
当該継ぎ目部の増し締めにより漏えいが停止しないため、となりのタンクに繋がる連絡弁を開いて、水位を低下させる処置を実施



G6エリアタンク(鋼製円筒型タンク)フランジ部からの漏えいについて

■時系列

- ・12時15分頃 漏えい発見
- ・12時20分 当該タンク隔離(連絡弁“全閉”)
- ・12時45分 地下貯水槽No.6 G6エリアタンクへの移送停止
- ・12時50分 通報
- ・15時～15時45分 当該フランジ増し締め
- ・16時20分～22分 連絡弁開操作
- ・16時35分 漏えい停止

発生場所

